

動物との意思疎通を目指す株式会社ラングレス REAL TECH FUND・Mistletoeから総額1億円を調達し、 革新的な心拍センシングによる動物感情研究を本格化



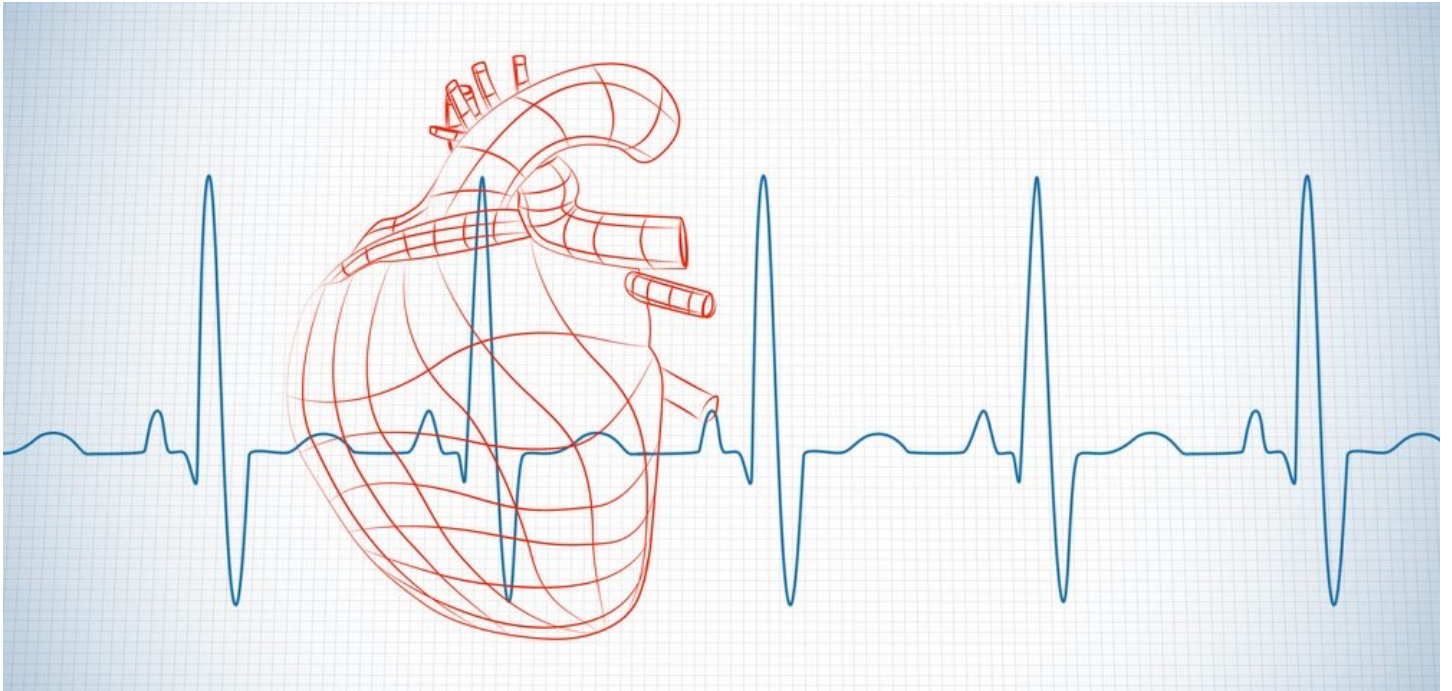
生体情報の解析技術によってリアルタイムに心の動きを可視化し、言葉以外の新しいコミュニケーション方法を生み出す株式会社ラングレス（東京都墨田区、代表取締役：山入端 佳那 / 代表取締役：山口 譲二）は、リアルテックファンド（本社：東京都港区、代表：永田 暁彦）、Mistletoe（ファウンダー：孫 泰蔵）より、総額1億円の資金調達を実施致しました。本資金調達により、当社の主力製品である、愛犬のこころを読み解き、5つの色で表す犬用ウェアラブルデバイス「INUPATHY（イヌパシー）™」の北米を中心とした海外展開を目指し、犬だけに限らず哺乳類全般の心の状態を可視化・表現する研究開発体制を新たに構築して参ります。



「ラングレス」に込めた想い

「ラングレス」という社名は、「非言語コミュニケーション (Language-less communication)」を広めたいというビジョンに由来します。祖先が言葉を使い始めたのは約7万年前と言われていますが、意思疎通と想像力を手に入れた私たち人間は、その力を元に社会を大きくしてきた一方で、話すことが苦手な人、何かしらの理由で言語が発せない人、もともと言語能力を持たない動物たちの想いは、汲み取られてきませんでした。特に動物とのコミュニケーションにおいては、今日まで、日常会話はもちろんのこと体調不良や非常時状態でもSOSを正確に受け取ることができませんでした。

ラングレスが目指すのは、そのような「伝えることのできないもどかしさ」をテクノロジーの力で越え、新しいコミュニケーションのあり方を生み出し、人間と動物が共生できる社会です。共同代表の山口の愛犬の心を解析したい、という動機を元に、世界で初めて心拍情報から愛犬のこころの状態を可視化する「イヌパシー™」を開発、2018年11月より販売を開始いたしました。



世界初の心拍センシング技術と動物感情解析技術を用いた「イヌパシー」

ラングレス社は世界で初めて、毛皮の処置なしに心拍を取得することができる革新的な心音検知センサーを開発しました。ノイズに極めて強く、体内の音声から心音のみを拾うことができる特殊な心拍センサーです。同センサーから取得した心拍情報を元に、心拍の分散値（HRV）から自律神経の活性状態を推測するパターン分類アルゴリズムによって、心拍から対象の状態を可視化することに成功。さらに独自技術による心拍変動解析「HRVシステム」によって体調の変化を察知し、健康管理に役立てることも可能としています。これまで困難だった動物の心拍計測が簡易化され、ペット産業での応用、畜産業における家畜の体調管理や研究分野での応用が期待されます。



同社の最初の製品として、2018年11月より「愛犬のこころを読み解くウェアラブルデバイス、イヌパシー」の販売を開始しました。イヌパシーは、微細な変化と自律神経の活性状態を詳しく分析することで、愛犬の感情（リラックス状態や好奇心状態）を5つのLED色で可視化できるハーネス型の犬用ウェアラブルデバイスです。すでに国内で600台の販売実績があり、今後もメディア出演などを通して国内外へ展開していきます。



今後の展開


今回の調達を機に、今年度中を目標に海外（アメリカ）への販売を開始。イヌパシー™の技術を応用し、ネコ向けのデバイスも開発にも着手していきます。牛やゾウなどの大型動物や海洋生物を対象とした共同研究のプロジェクトも進んでおり、Language-Lessな社会の実現に向けて、犬のみならず、哺乳類全般の状態解析、およびプロダクト開発をして参ります。

【今後の展開1】 アメリカを中心とした、海外への進出

海外メディアからの注目度も高く、海外のお客様やディストリビューターからも購入を希望される声が多いイヌパシー™の、北米を中心とした海外発送の準備を進めています。アメリカは日本の7倍ものペットが飼い主と暮らしており、ペットテック市場が確実に成長しているマーケットでの市場拡大を目指します。

【今後の展開2】 「Langualess LABO（ラングレスラボ）」の設立

イヌパシー™で培った世界初のリアルタイムでの心拍変動解析技術と蓄積されたデータの分析結果を、他の動物へ応用するべく、「Langualess LABO（ラングレスラボ）」を設立予定です。非言語コミュニケーションの更なる発展を目指して、人や牛、イルカ、ゾウなど多様な生き物の解析に関心のある事業会社との共同研究を進めてまいります。



代表者メッセージ



山入端佳那 / 代表取締役 CEO

外国語大学にて異文化コミュニケーションを専攻。株式会社リクルートコミュニケーションズにて、人の心が動く動機や価値観を探る業務に従事。2017年より心の解析をする製品開発に魅力を感じ、株式会社イヌパシーに参画。2018年、株式会社イヌパシーの代表取締役に就任し、同社を株式会社ラングレスと改名。「Language less communication、言語なしでも伝わる未来」の実現を目指す。

昨年2018年6月、社名をラングレスに変更したと同時に、ビジョンは「Language less communication」に変わりました。言語に頼らないコミュニケーションが実現した世界で起こることは何か？私たちのビジョンによって、私たち自身も日々問いかけられ、そこから得た考えや世界がプロダクトには詰め込まれています。心拍は、言葉では表現できないような繊細な心の動きもシグナルとして表れます。我々が認識している世界よりも、人間や生き物の体は幅広い感受性を持っていると私は思っています。今回のステージでは、隣にいるペットのここを知りたいと思っている海外の飼い主さんや研究者のみなさんに私たちのテクノロジーや発見の楽しさをお届けできればと思っています！



山口譲二 / 代表取締役 CTO

ニューカレドニア島ヌメア市出身。アメリカ、日本、オーストラリアを転々とし、帰国後、信州大学理学部生物学科に入学、修士修了まで動物行動学を修める。SEとして12年ほど勤務後、株式会社イヌパシー(後のラングレス)を設立。生物、進化、プログラミング、数学、哲学、工学に強い興味があり、ラングレスではハードウェア・ソフトウェア両方の開発を担当。

私のパッションは「動物をもっと理解したい！」と願っている人の手元に、そのための技術をお届けすることにあります。動物達の豊かな感性の世界に触れることは最高に幸せな体験です。そして、個人から社会全体まで、動物をよりよく理解することが日常になると、とても豊かな未来が見えてくると信じています。だからこそ、今回の資金調達を通して、一層強い責任感を持ちながら自らのパッションにまっすぐでありたいと思います。

出資者コメント

永田 暁彦 氏

リアルテックファンド代表
株式会社ユーグレナ 取締役副社長 COO



ラングレス社は、動物たちへの深い愛情と、彼らと解り合いたいという想い、そしてそれを実現できる確かな技術を持っています。また、動物でもある我々人間同士の円滑なコミュニケーションまでも目指す、大きなビジョンにも強く共感しています。彼らが目指す「人と動物の豊かな共生社会」が実現できるように、リアルテックファンドは全力で支援して参ります。

孫 泰蔵 氏

Mistletoe株式会社 ファウンダー



ラングレス社が持つ世界でもユニークな動物の心拍情報取得と状態解析技術が広まることで、今はまだ知ることができない生き物の心の声に人間は耳を傾けることができ、言語だけでは表現できない新しいコミュニケーションの価値が創造されていくと期待しています。

出資者の概要

①リアルテックファンド

運営者 : 合同会社ユーグレナSMBC日興リバネスキャピタル
所在地 : 東京都港区芝五丁目29-11
代表者 : 代表業務執行役 永田 暁彦
設立 : 2014年12月26日
事業内容 : 投資事業、インキュベーション事業
HP : <http://www.realtech.fund/>



②Mistletoe

運営者 : Mistletoe株式会社
代表者 : ファウンダー 孫 泰蔵
設立 : 2013年
事業内容 : スタートアップへの投資・支援、研究開発など
HP : <http://mistletoe.co/>



株式会社ラングレスについて

- ・ 代表者：山入端 佳那（CEO）、山口 譲二（CTO）
- ・ 所在地：〒130-0003 東京都墨田区横川 1 丁目16-3
- ・ 設立：2017年2月
- ・ 資本金：18,802,000円
- ・ HP：<http://langualess.com/>



●人材募集

ラングレスでは、現在、以下のポジションでメンバーを募集しています。

ラングレスは大きな転換期を迎えようとしています。プロトタイプ開発を終え、センサーの安定供給を実現見込みがたち、様々な飼い主さまや研究者さまに、培ったテクノロジーをお届けできるようになりました。

これまでに以上に「ユーザーの課題と真摯に向き合い、イヌパシーや次期プロダクトに創り続ける」仲間が必要不可欠です。自分たちの役割や業務も毎月のように変化しています。

ぜひご興味ある方はご連絡ください！

- ・ 経営陣とともの中長期的戦略を描き実行する、COO（Chief Operating Officer）
- ・ 世界中のイヌパシーカスタマーにプロダクトを届ける、ハードウェアプロダクトマネージャー
- ・ イヌパシーのデータを最大限に活かすアプリケーションのアプリ開発マネージャー、フロントエンドエンジニア
- ・ ユーザーを巻き込んだプロダクト開発を牽引する、カスタマーサクセスリーダー
- ・ 経営陣をサポートしてくれる、庶務・総務

お問い合わせ

本リリースについて：info@langualess.com

イヌパシーについて：sales@inupathy.com までお問い合わせください。